

もの忘れ外来のご案内

年齢を重ねると、誰でも、ちょっとしたもの忘れは出てくるものです。
しかし、以下のようなことが頻繁にみられる場合は、「認知症」のサインかもしれません。



- 自分の言ったことや、したことを覚えていない
 - 同じことを何度も言ったり、何度も聞く
 - ものの置き忘れが増えて、探し物をよくしている
 - 家事などが下手になり、新しいことを覚えられない
 - 話がスツとのみこめず、受け答えがちぐはぐ
 - 日付や時間の感覚があいまい
 - 自分のいる場所が分からず、道に迷う
 - 妙に怒りっぽいなど、様子がこれまでと違う
- …など



神経内科では、もの忘れ外来を行っています。

「年齢のせい」と思わずに、気になることがあれば、早めに受診されることをおすすめします。

…もの忘れ外来では、ご本人やご家族の方からお話を十分にお聞きした上で、認知症の有無や診断について調べるために、詳しい検査をさせていただきます。そのため、ご本人だけでなく、ご家族の方も受診に同席していただけますようお願いいたします。

(検査の内容や予定は、ご本人の状態や、ご家族の方のご希望もうかがいながら決めていきます)

もの忘れ外来は、ゆっくり時間を取って診察させていただくため、完全予約制です。

- 原則として、平日（月、火、水、金）の午後 14 時から行っています。
- アンケート記入、診察、検査まで含めて、大体夕方頃までお時間がかかります。
- その日に検査がすべて出来ないこともあります。また、より詳しい検査を行う場合にも、予約の上、数回に分けて通院していただくことになります。

ご予約・お問い合わせは

TEL 076 (233) 1811 神経内科まで

